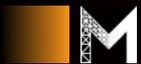


# METAPLANET

## アジアを代表する ビットコイン トレジャリー企業

株式会社メタプラネット  
2025年12月期第1四半期  
決算説明資料



# 将来見通しに関する記述について

本プレゼンテーションには、将来の業績や事象に関する見通し、目標、予測、戦略的計画などの将来見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、現時点で入手可能な情報および合理的であると判断した前提や期待に基づいております。

将来見通しに関する記述には、既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、実際の結果、業績、達成状況が記述内容と大きく異なる可能性があります。こうしたリスクには、市場環境の変動、為替レートや金利の変動、規制の変更、経済的・政治的情勢の変化、その他当社の制御が及ばない要因が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

当社は、本資料に記載された情報、前提、予測等の正確性、完全性、継続的な有効性について、明示または黙示を問わず一切の保証を行うものではありません。また、新たな情報や将来の事象等により、本資料に記載された将来見通しに関する記述を更新または修正する義務を負うものではありません(関連法令により義務付けられる場合を除きます)。

投資家の皆様におかれましては、本プレゼンテーションに含まれる将来見通しに関する記述に依拠することなく、十分にご注意とご自身での調査・判断を行っていただくようお願いいたします。

# メタプラネットは ビットコイン・トレジヤリー企業

資本市場を活用してビットコインの総保有量を増やし、1株あたりのBTCを成長させています

# メタプラネットはビットコイン・トレジャリー企業

債券発行(担保付社債、転換社債、ビットコイン担保付き)

+

株式発行(第三者割当増資、優先株式、転換社債、新株予約権)

+

事業運営によるキャッシュフロー(ビットコイン収益化戦略、ビットコインメディア、ビットコインホテル)

=



目標: 1株あたりのビットコイン保有量の最大化

# メタプラネット:ハイライト

## #1 パフォーマー

2024年、世界の上場企業 55,000社のなかで  
株式上昇率 第1位

## 6,796 Bitcoin

2024年4月8日にビットコイン・スタンダード  
を採用して以来の保有量

## 861億円

ビットコイン取得のために調達  
(年初来)

## 株主数: 6万4千人

1年で+500%の株主数の増加を実現

## +100x グロース

ビットコイン・スタンダードを採用して  
以来の時価総額

## #11 世界ランキング

上場企業のなかで世界第11位のBTC保有量

## 日本唯一のビットコイン上場 プロキシ

日本で唯一・最大の  
ビットコイントレジャー企業

## 454億円BTC円ゲイン

株主への価値増加は即時に反映され、100%の  
透明性をもって提供されます

## 税制優遇

日本では、上場株式の税率は20%であるのに対し、ビット  
コインを直接保有した場合の税率は最大55%



注記: 時価総額が \$250M 以上、2024 年 1 日平均取引量が \$50M 以上の企業で株価上昇率第 1 位。BTC保有ランキングの出典: <https://bitcointreasuries.net/>

# ビットコインレジャー業務:ハイライト

## ビットコイン保有量: 6,796 BTC / 世界第11位、アジア第1位

- ❑ 2025年5月12日時点で、総額901億円(1BTCあたり13,270,989円)で取得済
- ❑ 第1四半期末時点では評価損が74億円発生していたが、5月12日時点では135億円の含み益に転換
- ❑ 年度目標である10,000BTCのうち、68%をわずか4か月強で達成

## 資本市場での活動: 861億円を調達 / 日本国内発行額第1位

- ❑ 第12回新株予約権による調達額:95億円
- ❑ 第13回~第17回新株予約権による調達額:766億円
- ❑ 2025年5月12日時点において、本年度日本最大の株式発行体

## KPI: 2025年5月12日時点で年初来のBTCイールドは170.0%を達成

BTCイールド: **170.0%**

BTCゲイン:  
**2,996**

BTC円ゲイン:  
**454億円**



# 日本を代表するビットコイン・トレジャリー企業

## BTCスタンダード採用以来のパフォーマンス

BTC 保有量

**6,796 BTC**

BTC 純資産 (NAV)

**103.1x**

時価総額

**138.1x**

## 2025年初来のパフォーマンス (5月12日時点)

BTC 保有量

**+5,034 BTC**

BTC 純資産 (NAV)

**3.9x**

時価総額

**2.4x**

# 当社マネジメントからのメッセージ

世界経済は、物理的資本と労働を基盤とした従来のパラダイムから、デジタル資本とネットワーク型システムによって支配される新たな構造へと移行しつつあります。同時に、戦後の金融秩序は、政府債務の膨張、貿易構造の再編、地政学的リスクの高まりといった重圧の下で、軋みを見せ始めています。

この移行の中で、資本は従来の「安全資産」であった国債から、より希少性の高い価値の保存手段へと移動しており、まず金、そして今や加速度的にビットコインへとシフトしています。供給量の絶対的な希少性、優れた可搬性、そして非国家的中立性を持つビットコインは、デジタル時代における新たな準備資産として台頭していると私たちは考えています。

この確信に基づき、当社は2024年に日本初のビットコイン・トレジャリー企業へと戦略的転換を図りました。さらに2025年第1四半期には、日本資本市場史上最大かつ最も低コストである「MS型新株予約権ファイナンス」を開始し、すでに5月13日時点において、その87%を実行済です。本新株予約権を活用しエクイティ調達を目指すプログラムは、極めて高速に進捗しております。今後もあらゆる資金調達手法を駆使し、ビットコイン建ての企業価値の向上を永続的に加速させていく方針です。

現在、当社株式は、日本、ドイツ、米国の3つの市場で活発に取引されており、ドイツ市場の「DN3」、米国の「MTPLF」では連日出来高の記録を更新しています。

当社は、これまでの実績が示す通り、四半期に設定された目標を達成するためではなく、それを上回るために活動しています。

世界の資本市場とビットコインの間には、新たな相互作用の流れが生まれつつあり、これはまだ始まったばかりです。当社は、その重要なつなぎ役となることを目指しております。



# 決算概要



# 2025年 第1四半期 連結決算概要

(百万円)

	2024年4Q	2025年1Q	増減率
売上高	812	877	8%
営業利益	534	593	11%
経常利益	6,305	(6,853)	-
当期純利益	6,706	(5,047)	-
総資産	30,325	55,023	81%
純資産	16,966	50,437	197%

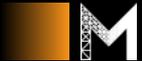
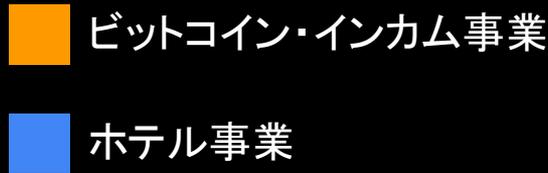
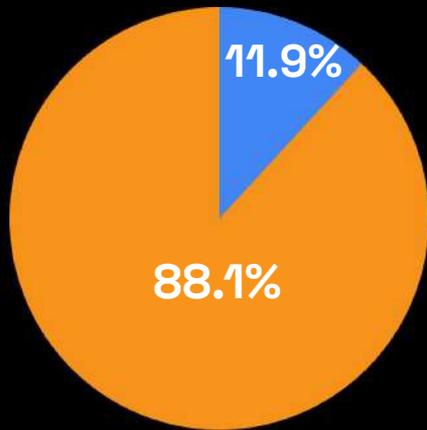


# 2025年第1四半期売上高の概要

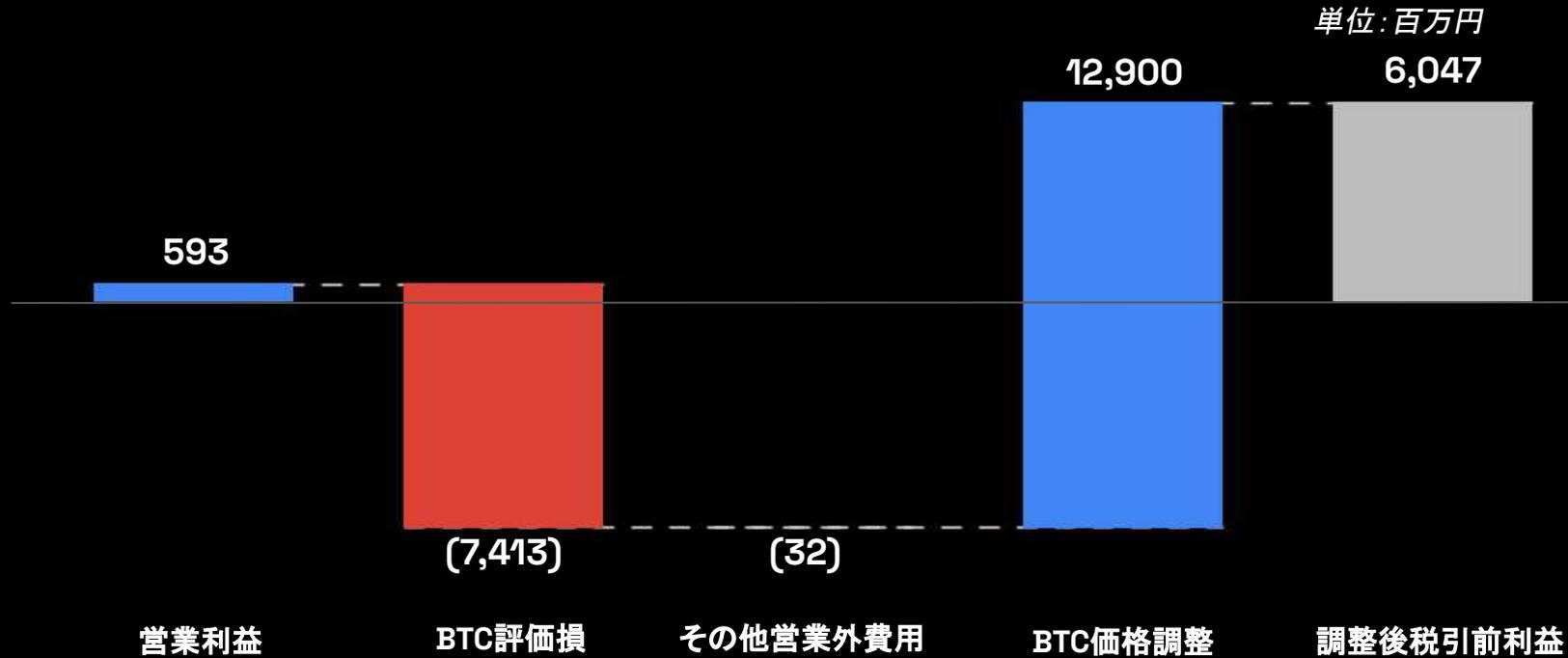
当社は2024年第4四半期にビットコイン収益創出戦略を開始し、以来これが当社の主要な収益源となっており、今後も利益成長の中核を担う見通しです

単位:百万円

## 25年1Q 売上高の内訳

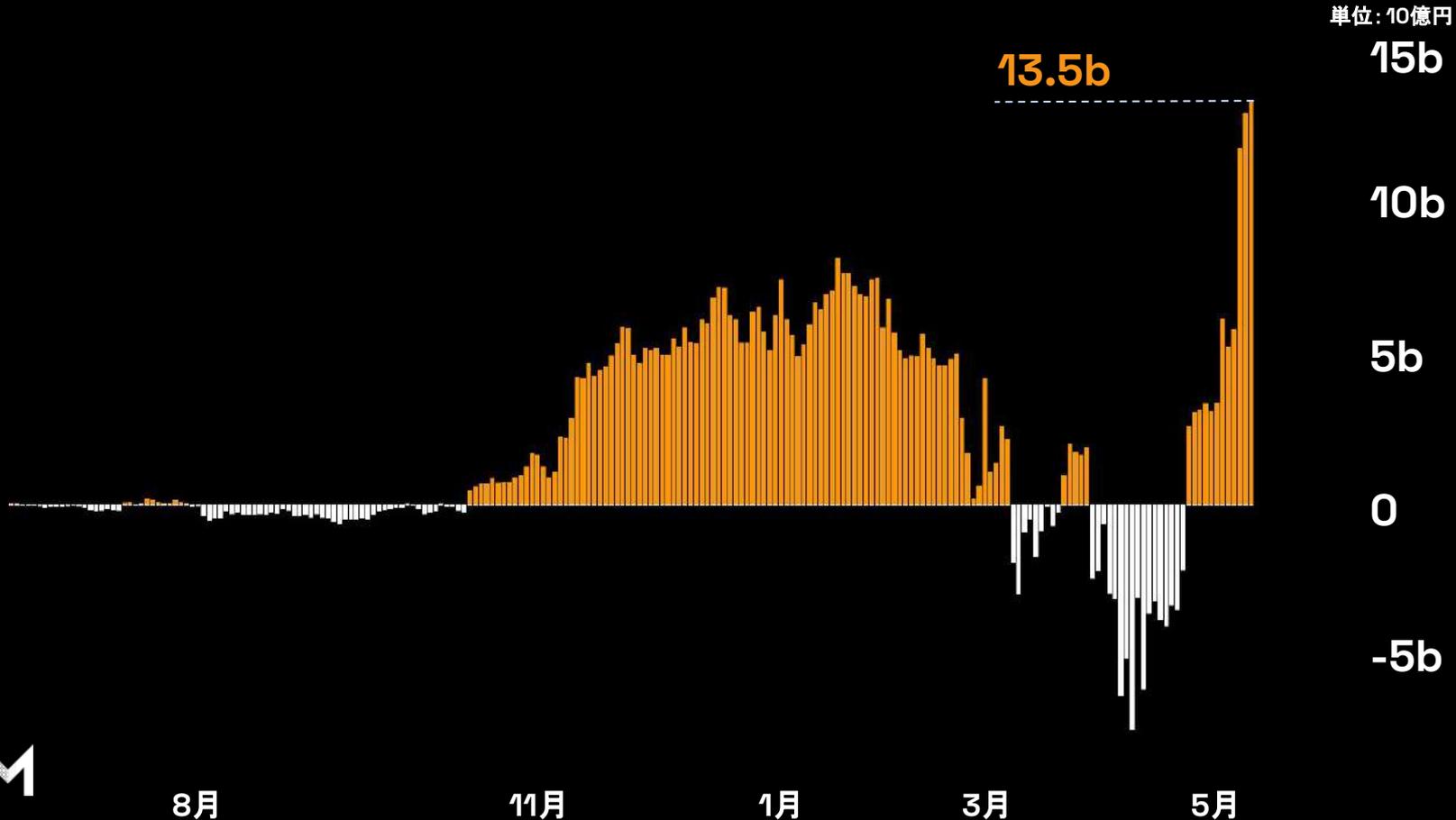


# 2025年第1四半期 調整後利益の内訳



注記: 129億円の公正価値調整は、2025年第1四半期末以降におけるビットコインの市場価格上昇を反映したものであり、2025年5月12日時点の価格に基づいています。この調整額は第1四半期の公式な財務数値には含まれておりませんが、四半期終了後のビットコイン価格の上昇が純利益に与える影響を示すものです。

# 保有するビットコインの含み損益の推移



# ビットコイン・トレジラリー運用

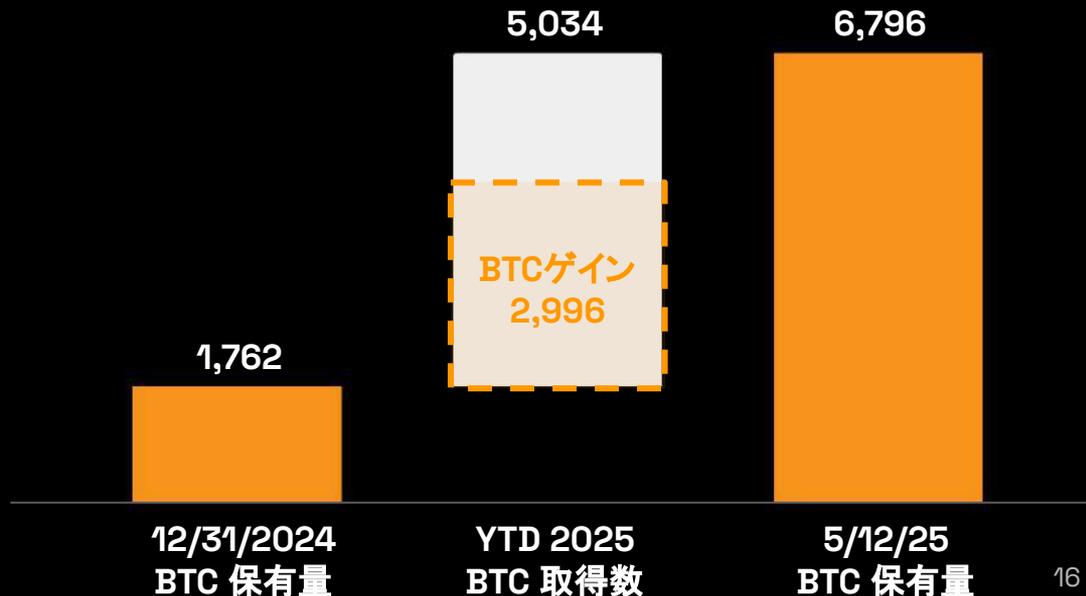
メタプラネットが実現する卓越したリターンの源泉

# BTC 主要KPIの算出方法

- BTCイールドとは、ある期間における「総ビットコイン保有量」と「発行済み完全希薄化後株式数」との比率の変化率を指します
- BTCゲインとは、その期間の初めに当社が保有していたビットコインの数量に、当該期間の BTCイールドを乗じて算出されるビットコインの増加分を表します
- BTC円ゲインとは、上記の BTC増加量に対して、当該期間末時点のビットコイン市場価格を用いて円換算した金額です

$$\begin{aligned} & 1,762 \quad \text{BTC 保有量} \\ & \times 170\% \quad \text{BTC イールド} \\ & = 2,996 \quad \text{BTC ゲイン} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & 2,996 \quad \text{BTC ゲイン} \\ & \times \text{¥}15.19\text{m} \quad \text{BTC 価格(円)} \\ & = \text{¥}45.4\text{B} \quad \text{BTC ¥ ゲイン} \end{aligned}$$



# ビットコイン・トレジャリーの指数関数的成長

6,796ビットコインを保有

取得総額は901億9,000万円

1ビットコインあたりの平均取得価格は13,270,989円



# ビットコイン・トレジヤリーの指数関数的成長

100,000

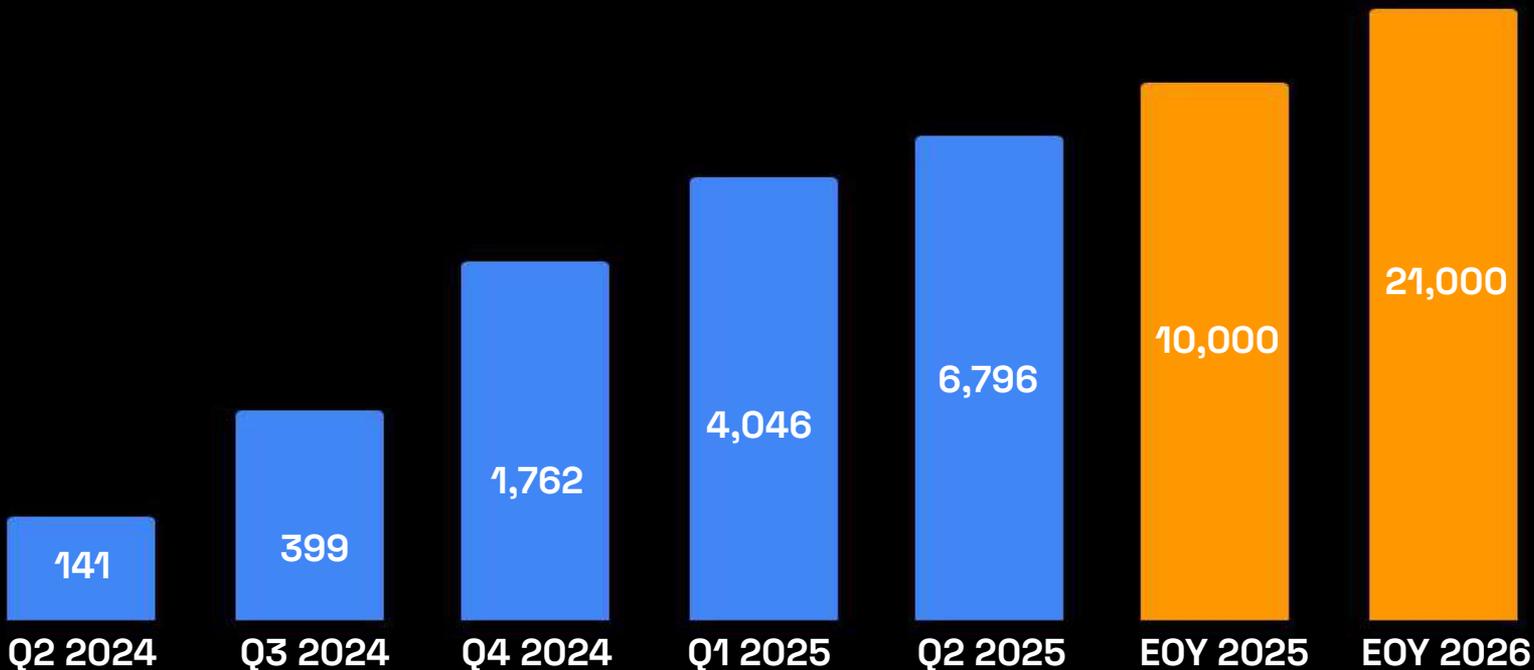
メタプラネットの**ビットコイン保有量**は指数関数的に増加しています

(対数スケールで表示された線形成長)

10,000

1,000

100



# 主要KPI: BTCイールド

**BTCイールドとは、ビットコイン保有量と発行済み完全希薄化後株式数との比率が、期間ごとにどれだけ変化したかを示す割合です**

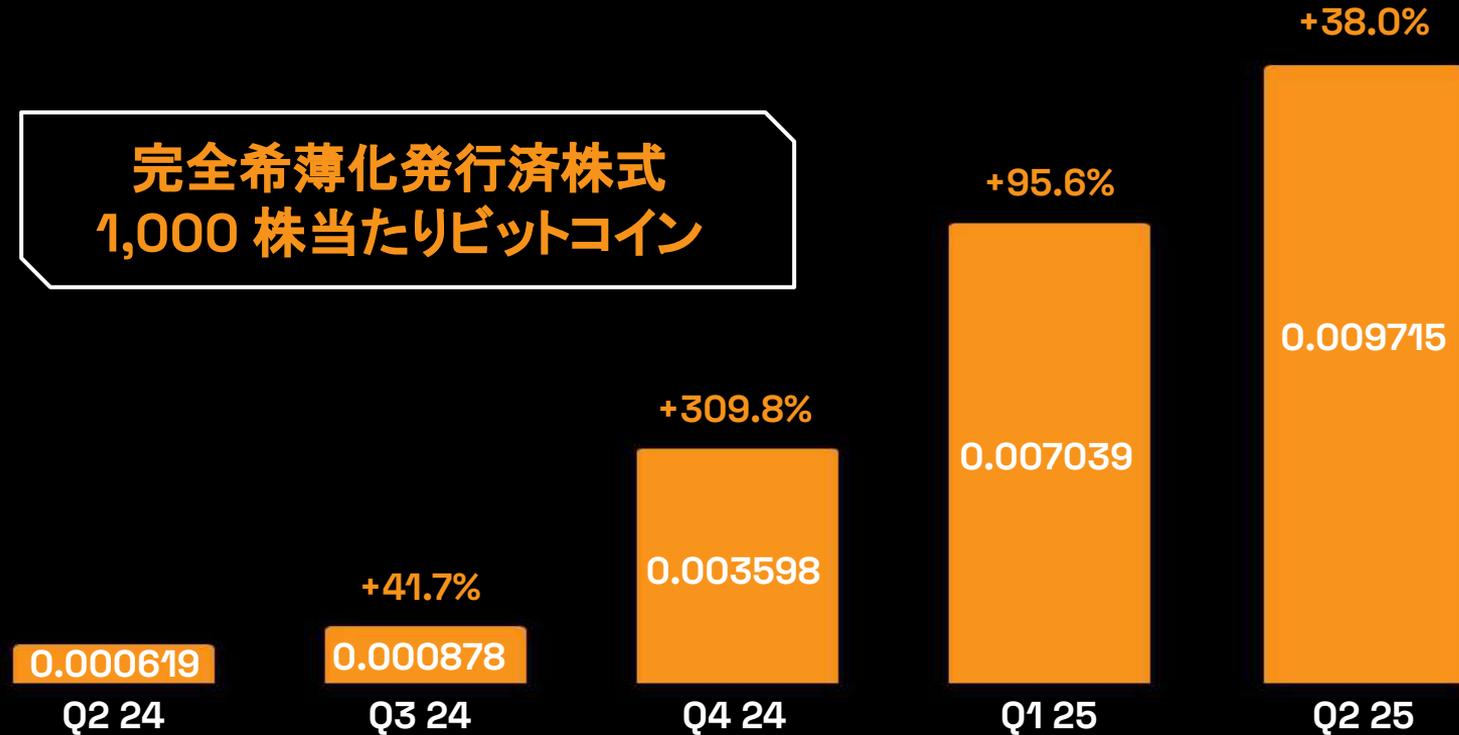
	6/30/2024	9/30/2024	12/31/2024	3/31/2025	5/12/2025
ビットコイン保有量	141.07	398.83	1,761.98	4,046	6,796
発行済普通株式数	181,692,180	181,692,180	362,683,340	442,483,340	553,074,340
完全希薄化後発行済株式数	227,692,180	454,201,850	489,604,170	574,779,175	699,517,925
完全希薄化発行済株式1株当たりBTC	0.0006196	0.0008781	0.0035987	0.0070392	0.009715
<b>BTC イールド (%)</b>		<b>41.7%</b>	<b>309.8%</b>	<b>95.6%</b>	<b>38.0%</b>
BTC ゲイン (四半期累計)		58.86	1,235.58	1,684.00	1,538
BTC 円ゲイン (百万円、四半期累計)		¥538	¥18,483	¥21,066	¥23,340
BTC/円 参照価格		15,173,997	15,173,997	15,173,997	15,173,997



注記: 完全希薄化発行済株式 1株当たりBTCは、絶対数値が小さくなるため、1,000株当たりのBTCを記載しています

# 複利的なBTCイーールドがパフォーマンスを牽引

完全希薄化発行済株式  
1,000株当たりビットコイン



「BTCイーールド」とは、当社のビットコイン保有量と発行済み完全希薄化後株式数との比率が、各期間でどれだけ変化したかを示す割合であり、重要業績指標（KPI）の一つです。当社はこの指標を、ビットコイン取得戦略の実行状況を評価するために活用しておりますが、これは営業成績、財務状況、または資金繰りを直接示す指標ではありません。将来の見通しや目標は、あくまで参考情報として提示するものであり、市場環境、リスク、および不確実性の影響を受ける可能性があります。過去の実績は将来の成果を保証するものではありません。

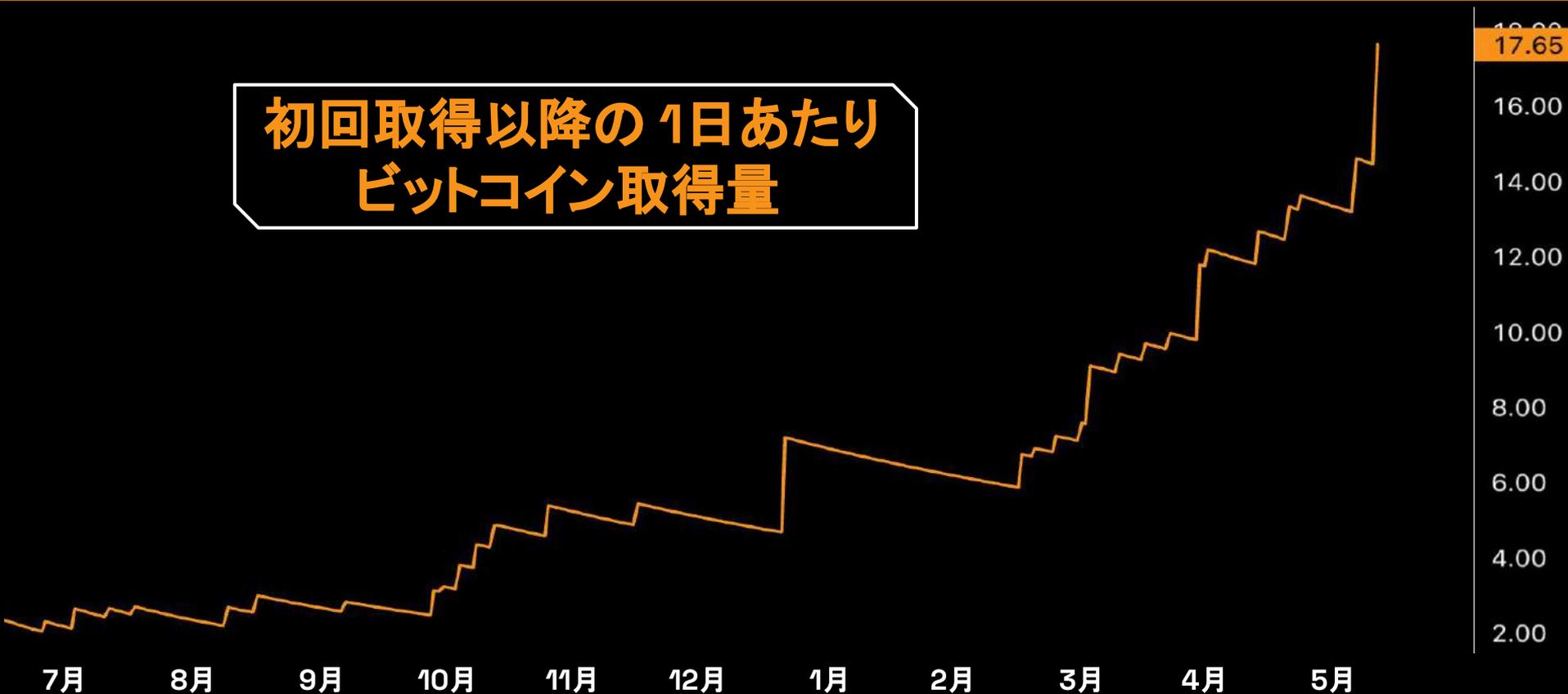


# BTC下落局面においても1株あたりBTCNAVは着実に増加



# ビットコイン蓄積速度の加速

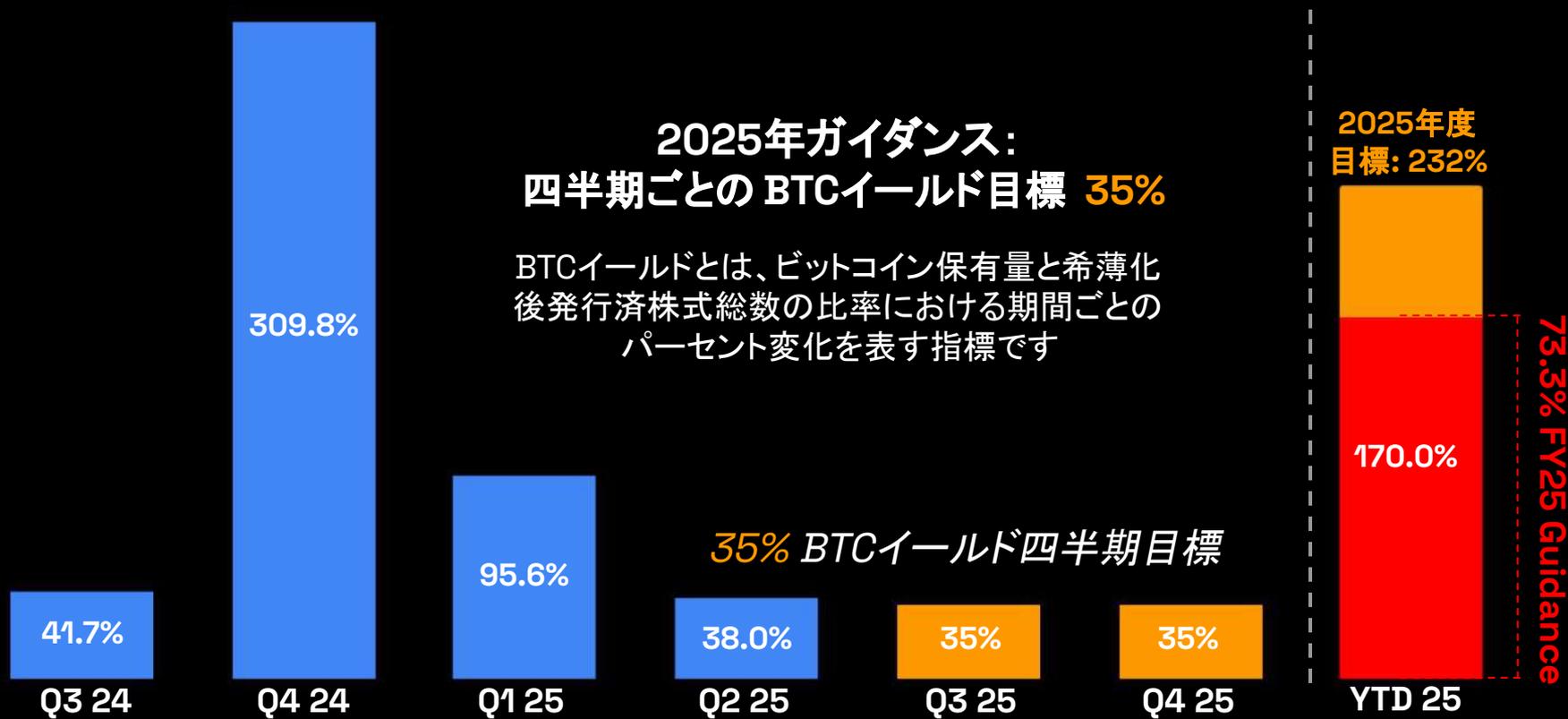
初回取得以降の1日あたり  
ビットコイン取得量





# KPI / 主要数值

# メタプラネット BTCイールド 年初来累計: 170.0%



「BTCイールド」は、当社のビットコイン保有量と希薄化後発行済株式総数の比率における期間ごとの %変化を表す KPI(重要経営評価指標)です。この KPIは、当社のビットコイン取得戦略のパフォーマンスを評価するために使用しており、営業実績や財務、流動性を示す指標ではありません。予測および目標はあくまで参考目的であり、市場環境、リスク、不確実性に影響を受ける可能性があります。過去の実績は将来の成果を保証するものではありません。



# ビットコイン蓄積に向けた先駆的な資本調達

## ムービング・ストライク型新株予約権による 2億1,000万株の発行

日本版「At-The-Market」型エクイティ・ファシリティ

### 執行状況

87% の行使率

効率的な  
増資手段

株式は市場への影響を最小限に抑えるよう段階的に売却されています

### 調達額

1.82億株相当  
766 億円

バランスシート  
強化

2億1,000万株規模の本プログラムは、日本市場史上最大のゼロディスカウント・ムービングストライク型新株予約権による資本調達となりました

### 対出来高 %

行使開始以降  
の関与率  
7.2%

BTC蓄積を加速

高い流動性、良好な資本循環により、メタプラネットは最も希薄化効果の小さい条件で資金調達を実現しています

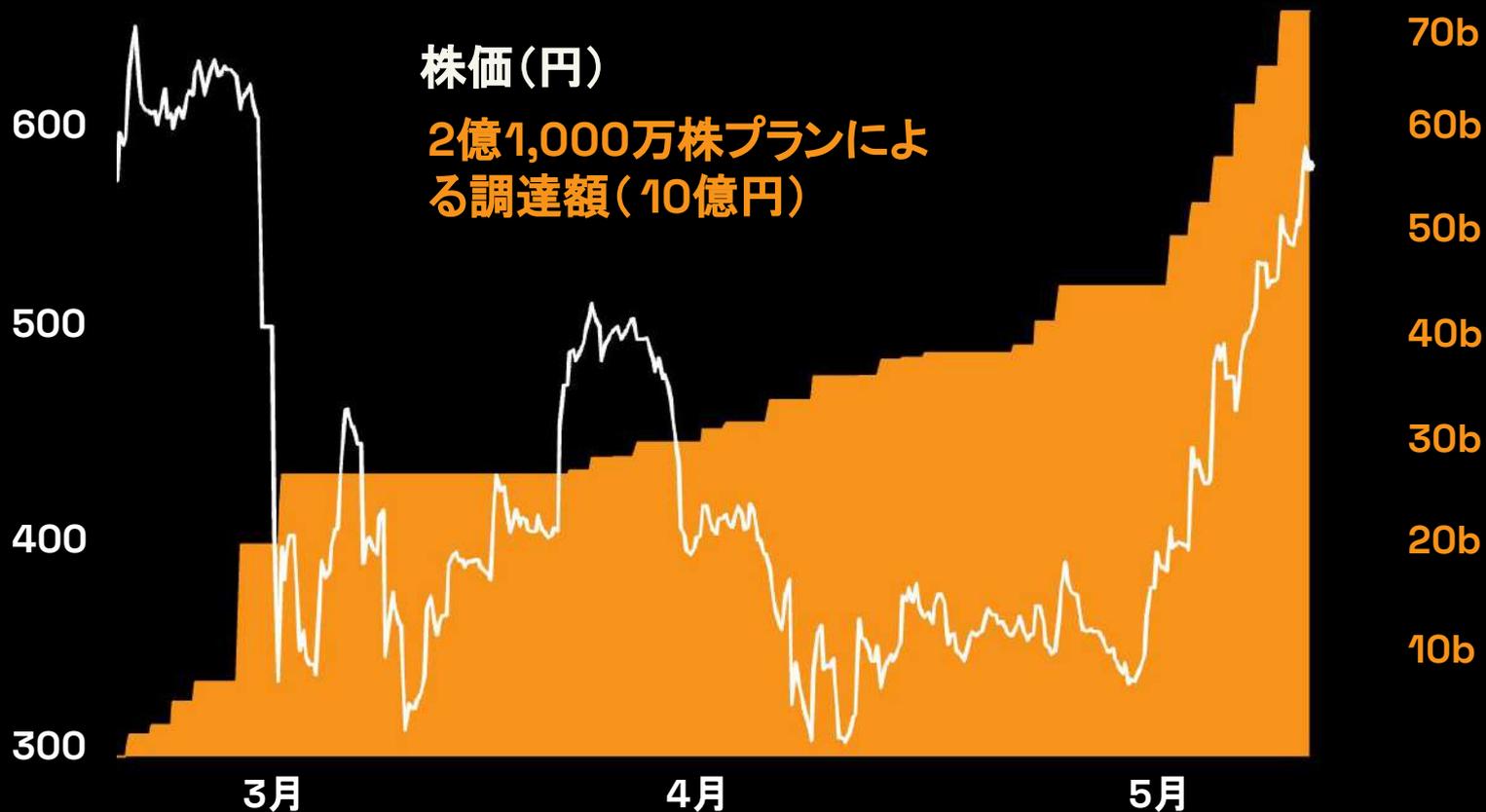
### 革新的設計

前日比上昇時に行使  
されやすい設計

株価インパクトを抑  
制

MS型新株予約権の設計は、前日終値を上回る水準のみ株式が売却されるよう設計されています

# 766億円を調達(2.1億株プランの行使率: 87%)





なぜメタプラネットは BTC純資産 (NAV)  
に対してプレミアムで取引されているのか

# ビットコイン・トレジャリー企業の時価総額の構成要素

時価総額 (円) = BTC純資産価値 (NAV) (円) + 将来のBTC増加分の円換算の現在価値



将来生み出すBTC円ゲイン = 現在保有BTC数 × 期待BTCイールド × 将来のBTC価格



## mNAVが上昇する要素

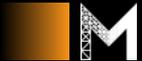
- ✓ 期待BTCイールドが高い
  - 市場環境に応じた調達手法でBTCイールドを極大化
- ✓ BTC価格(円)の先高観が強い
  - 強気相場ではmNAV上昇(株価上昇)でBTCイールドも上昇



# なぜは当社は NAVに対してプレミアムで取引されるのか

- 2025年年初来で170%のBTCイールド(完全希薄化後 1株あたりビットコイン保有量の 170%増加)を達成。今後もそのペースを継続する方針
- 日本初・日本最大のビットコイン・トレジャリー企業。東京証券取引所における最も流動性の高い株式の一つ
- 複数の国内外の株式 ETFに組み入れられており、パッシブ資金流入の恩恵を受けている
- 当社株式は、日本・米国・ドイツの 3つの主要市場で取引されており、週あたりおよそ 100時間以上の取引機会を確保
- ビットコイントレジャリーの採用以降、当社は日本市場で最も高いボラティリティとリターンを示す上場企業となった
- ビットコインのボラティリティを体系的に収益化する手法(高プレミアムのプットオプション売却)により、収益を創出
- ムービングストライク型新株予約権と短期社債を組み合わせた、極めて低コストな資金調達手法を有している
- ビットコイントレジャリー企業の中でも健全なバランスシートを維持しており、今後のレバレッジ活用による追加的な BTCイールド創出の可能性も有している
- 超低金利の先進国市場である日本の資本市場にアクセスできることも、潜在的なデットを活用するレバレッジ戦略における優位性
- ゼロクーポン型の転換社債や永続的優先株式の発行を通じて、BTCイールドを永続的に創出するポテンシャルを持ち、すでにその先行事例(米ストラテジー社)も存在
- 税制面においても、優位性がある。個人投資家は課税口座・非課税口座( NISA)を通じてBTCエクスポージャーにアクセス可能
- 日本の個人投資家・機関投資家に対し、コンプライアンスやカストディに関する障壁を解消する手段を提供

# メタプラネットの過去の mNAV 推移



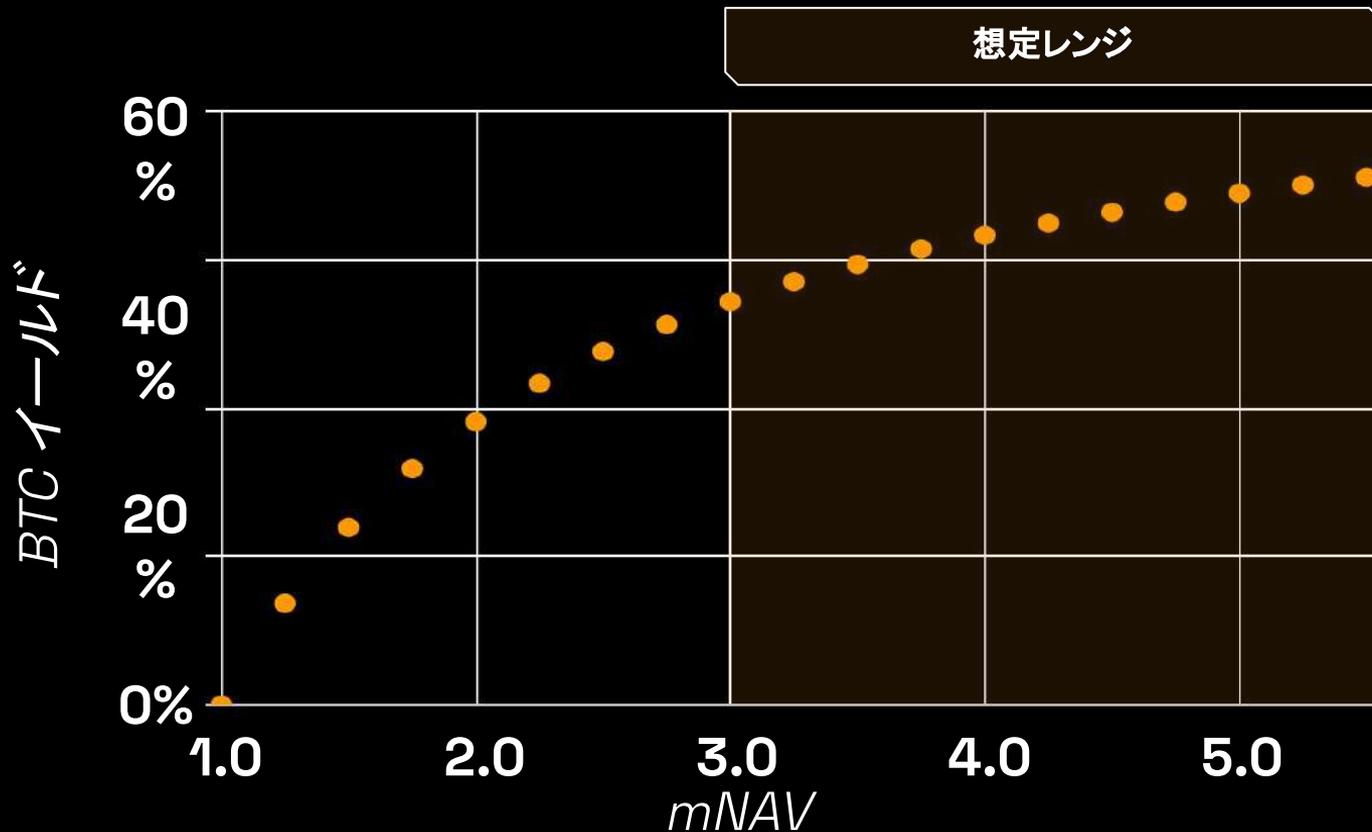
# 株価がmNAVをカバーするために要した日数



# 時価総額および BTC純資産価値が過去最高値を更新

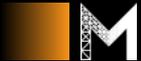
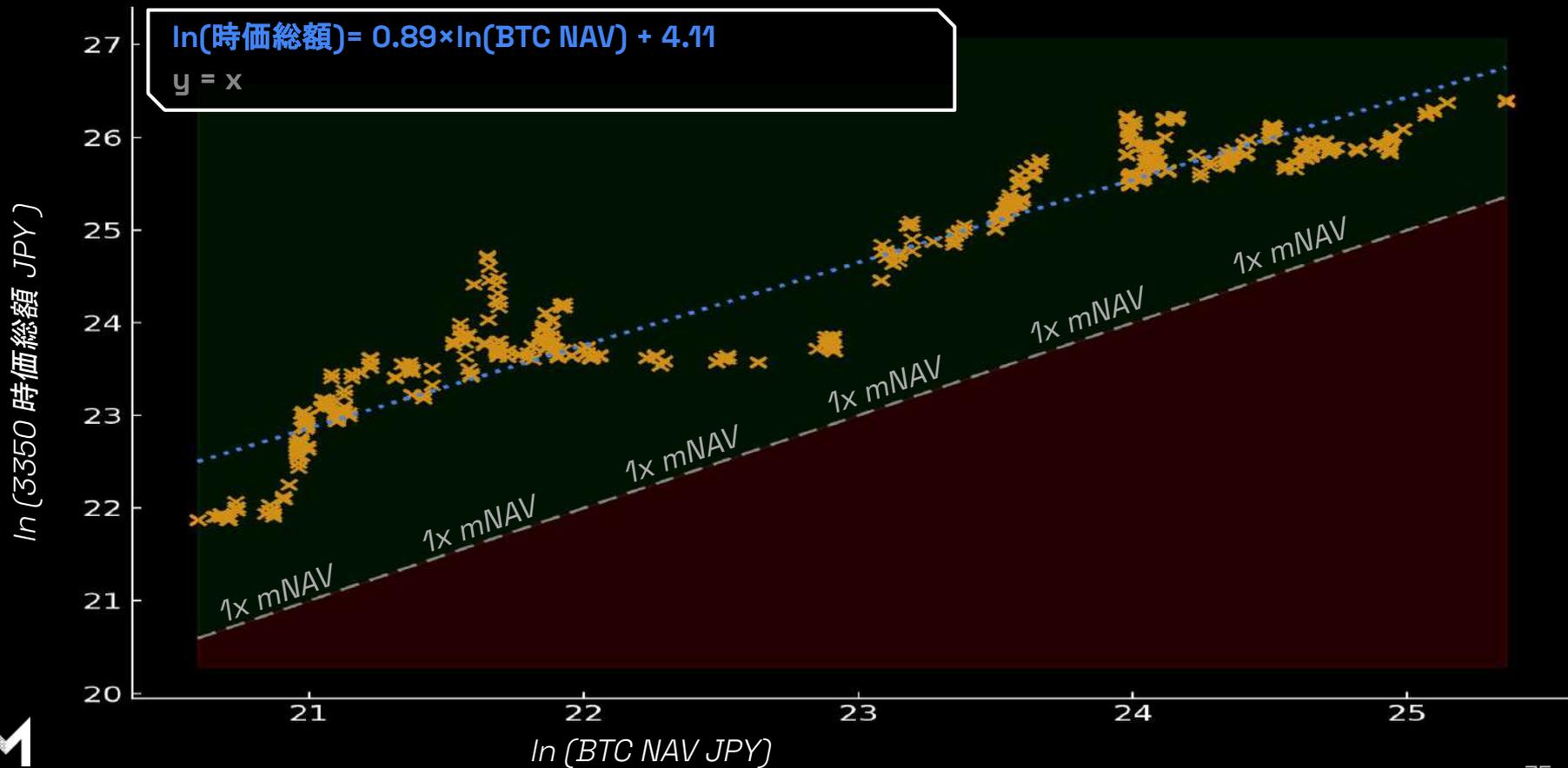


# mNAVシナリオ：10KBTC到達時に想定されるBTCイールド



注記：当社が10万ビットコインに到達した際に期待される追加的なBTCイールドに関するシナリオ分析になりますが、市場環境の次第で結果は変動します

# mNAVとBTC NAVの関係：べき法則 ( A Power-Law)

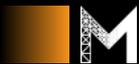
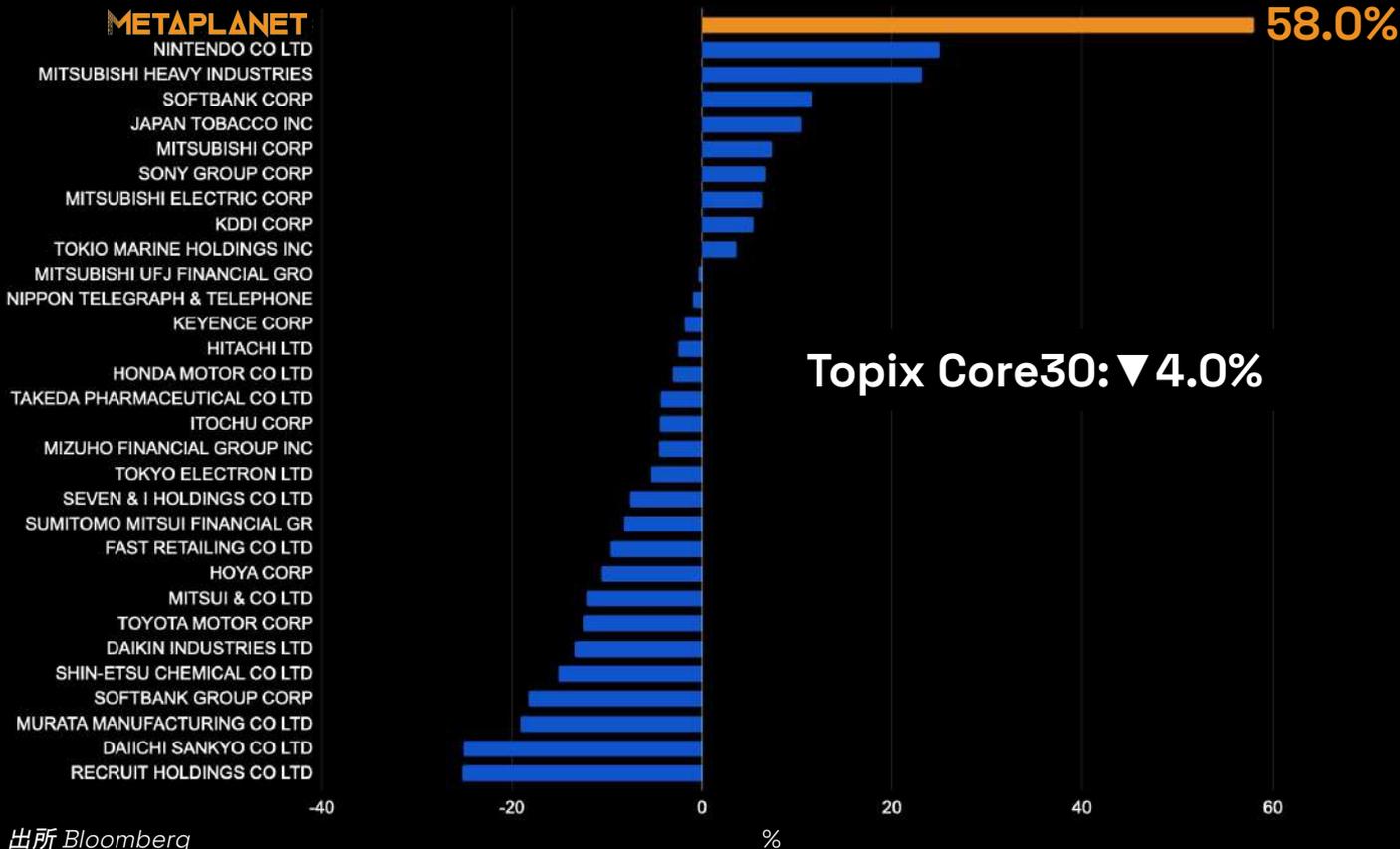


# 業績指標

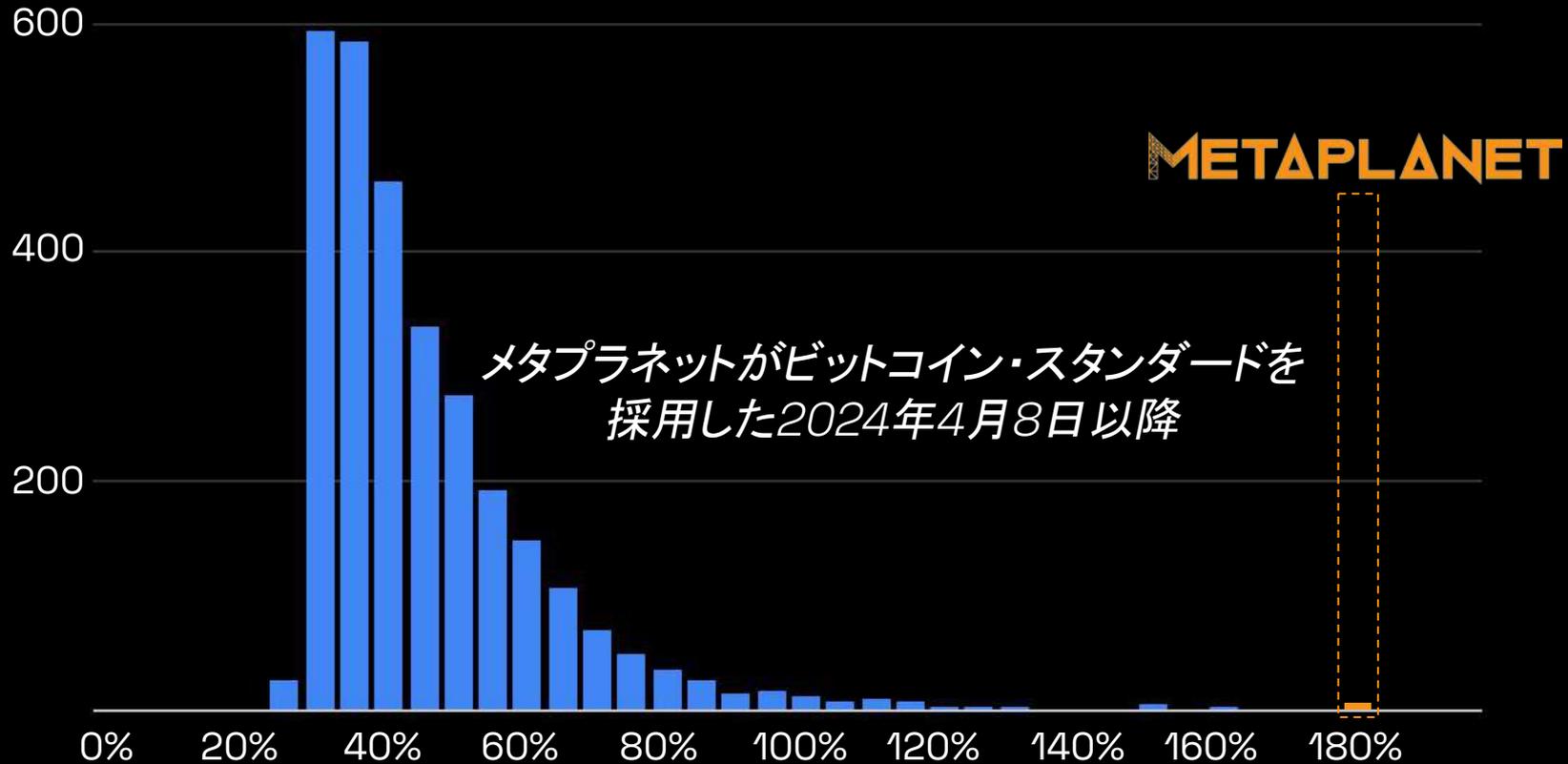
COMNET



# メタプラネット vs TOPIXコア30 年初来パフォーマンス比較



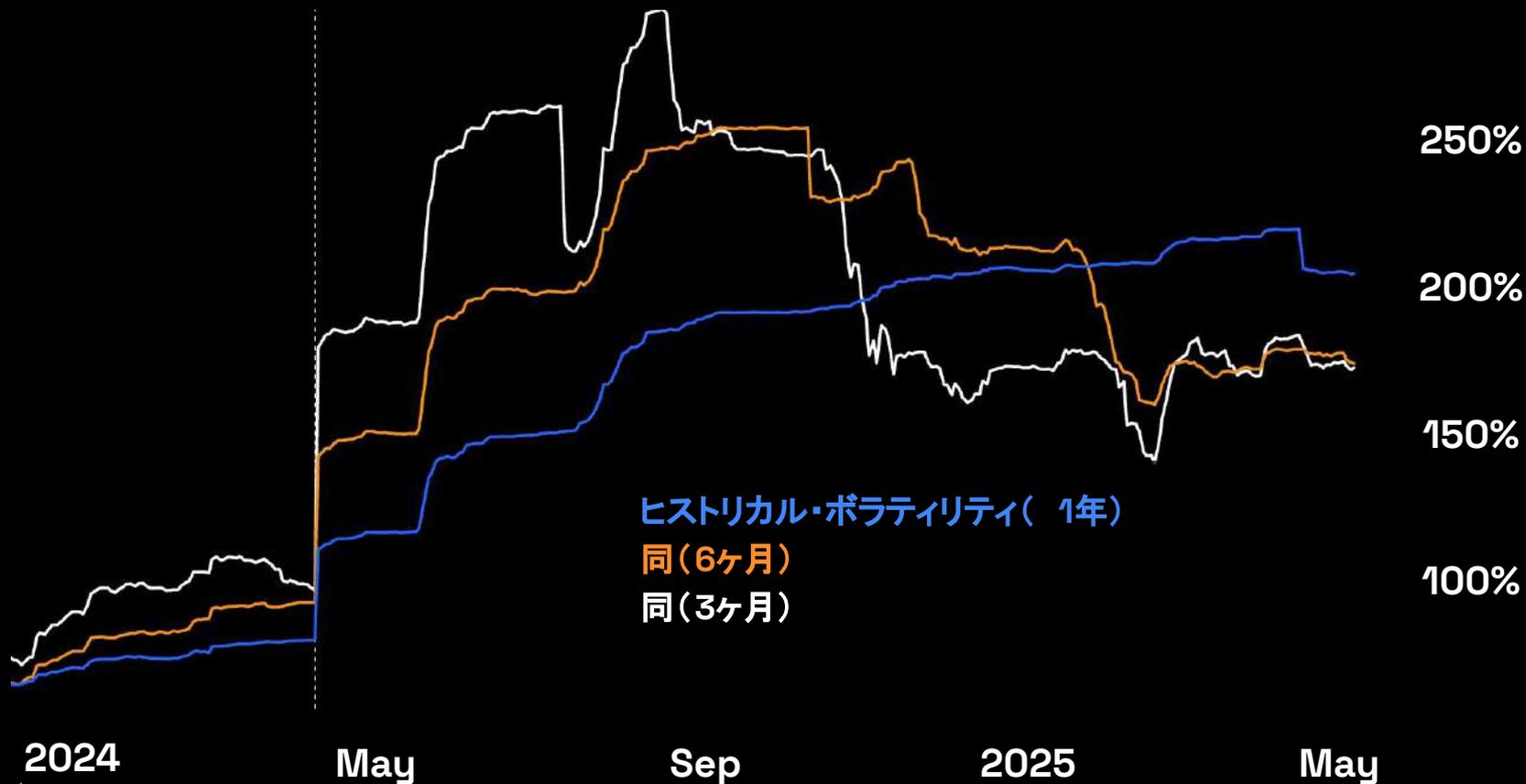
# 本邦上場企業の株価ボラティリティの分布



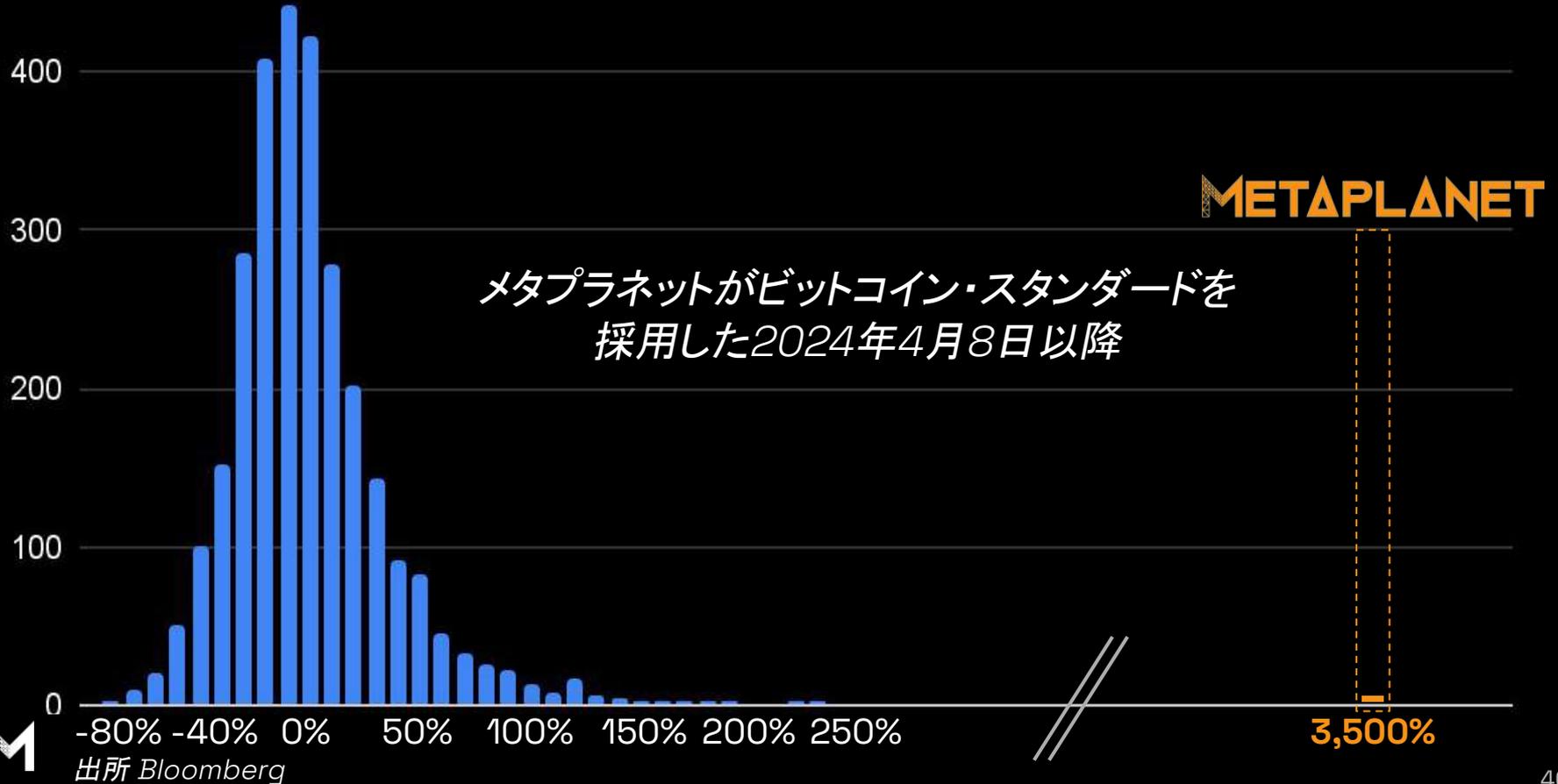
2024年4月8日以降のヒストリカル・ボラティリティ(時価総額 100億円超の企業対象)

出所 Bloomberg

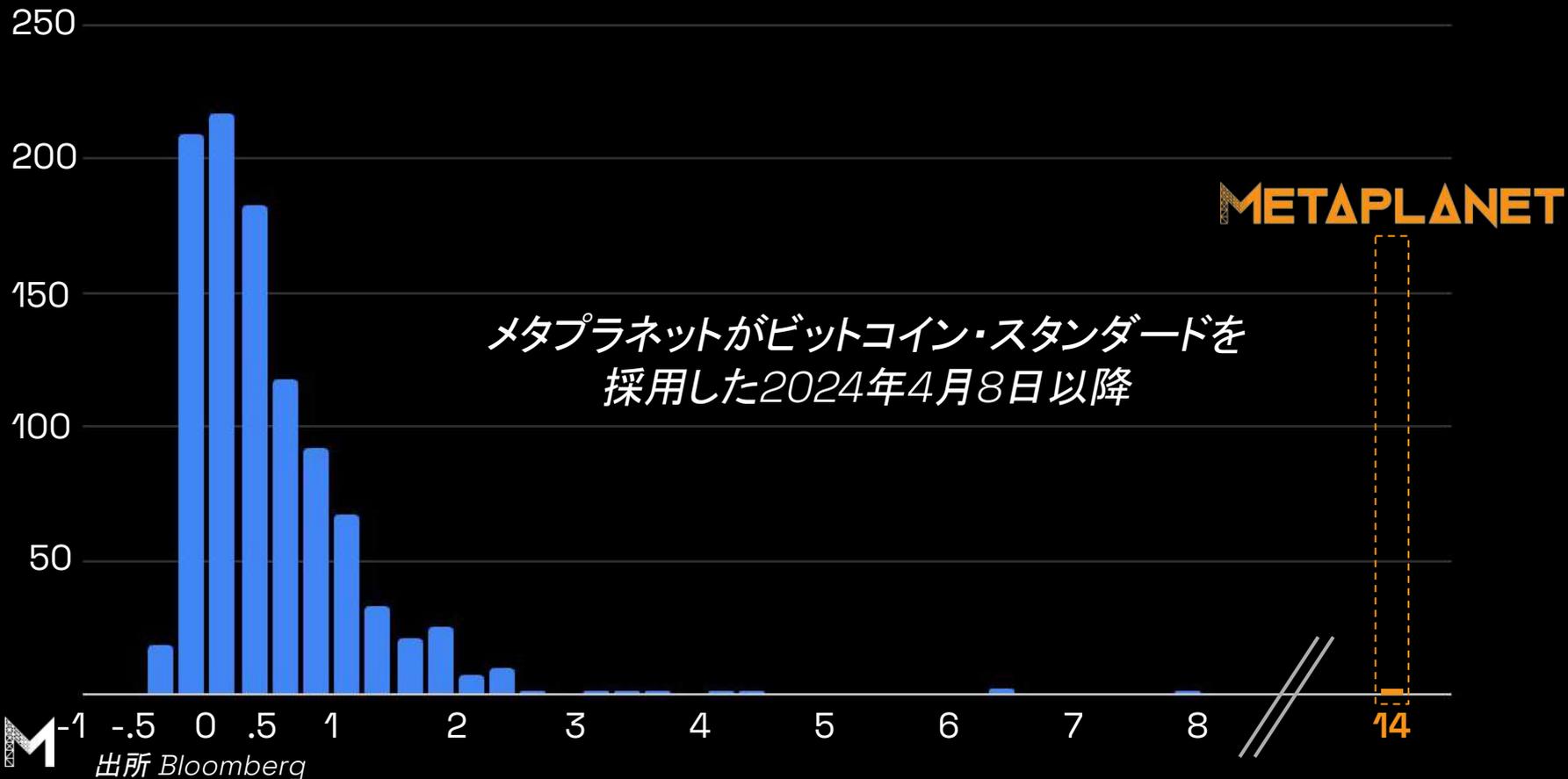
# 当社株価のヒストリカル・ボラティリティ



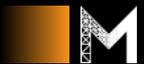
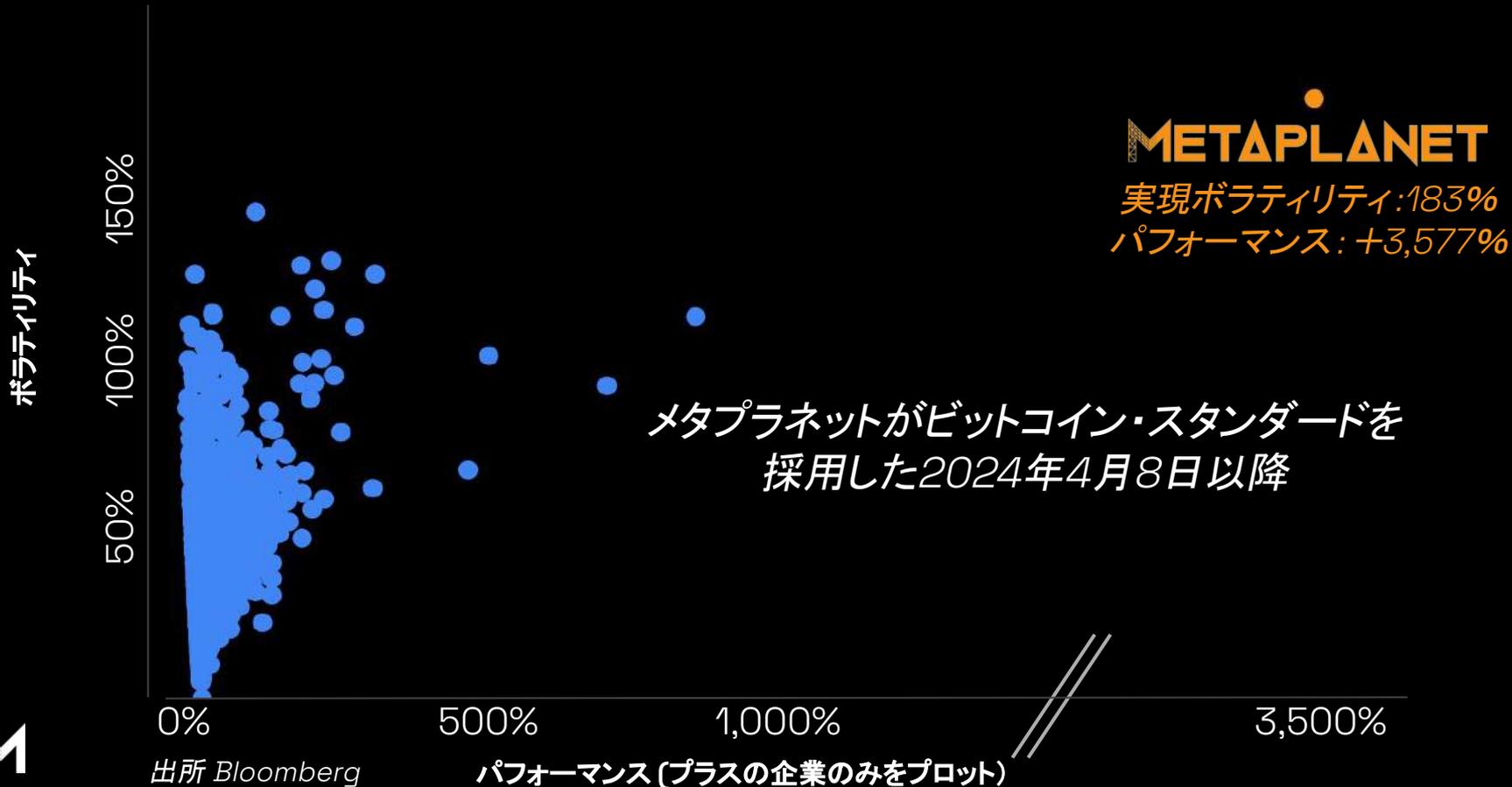
# 本邦上場企業の株価パフォーマンス分布



# 本邦上場企業のシャープ・レシオ分布



# 本邦上場企業の株価とボラティリティの関係



# MTPLFを通じた米国投資家からの関心の高まり

OTCQXで取引されるMTPLFの1日あたり出来高  
(東証での出来高に対する割合)



# 米国投資家からの関心の高まり

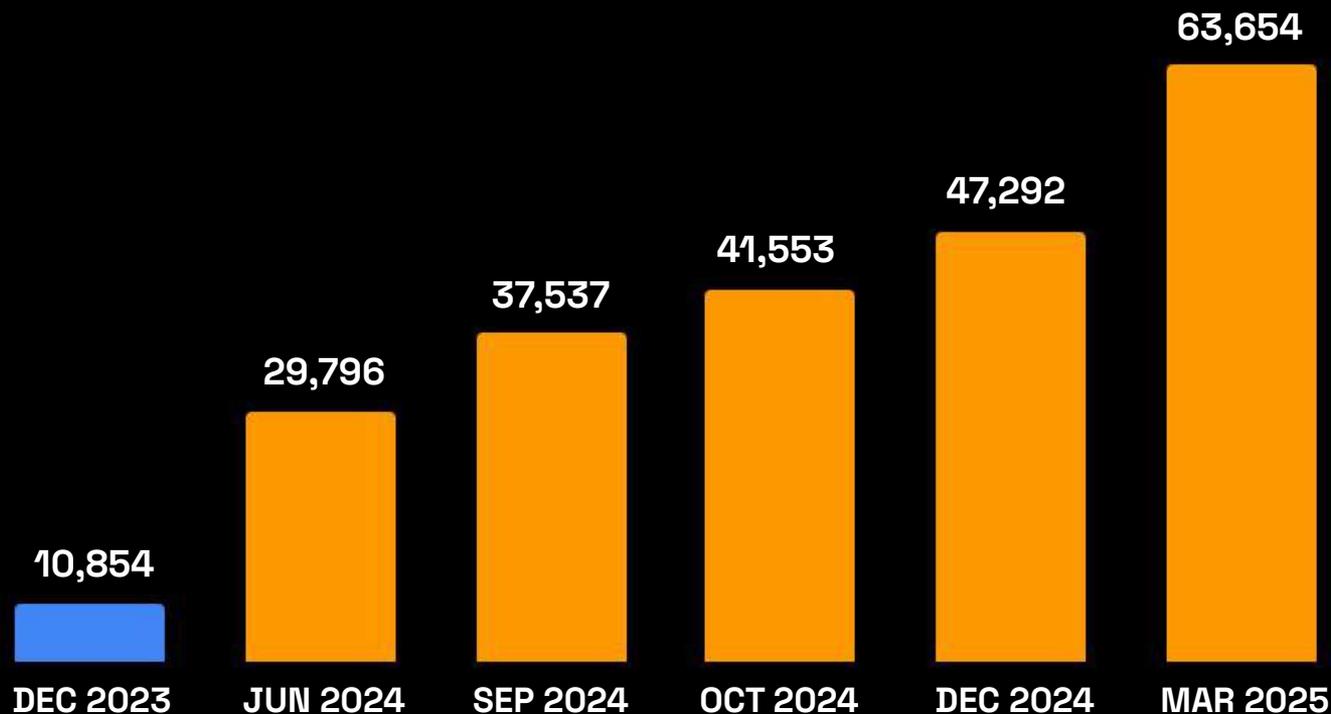


出所 Bloomberg

注記: 5月の売買代金は、現状の売買代金が月末まで維持された場合の試算値として記載



# 増加するメタプラネットの株主数



注記: 当社の株主の中には、インタラクティブ・ブローカーズのような海外の証券会社も含まれており、これらの証券会社を通じて保有する複数の株主が、株主名簿上では1つの名義にまとめられて表示されております。そのため、これらの数値は実際よりも少なく見積もられております。



# 參考資料

# メタプラネット vs 現物BTCの比較

	メタプラネット株式会社	現物 BTC
日本での所得税率	20%	最大55%
保有形態	恒久資本を備えた上場オペレーティング・カンパニー。規制準拠の投資ビークルとして、日本の機関投資家・個人投資家にビットコインへのエクスポージャーを提供。	日本には現物BTC ETFがなく、国内の証券口座でBTCを直接保有する手段も存在しない。
営業キャッシュフロー創出能力	あり。2024年に7年ぶりの通期黒字達成を見込む。	なし
資本市場を活用し税効率的にBTCを拡大する能力	債務調達：担保付・無担保・資産担保・転換社債・ストラクチャードノート等 株式調達：普通株式、ムービングストライク・ワラント、優先株式	なし
国内証券口座での信用（マージン）取引枠の利用可否	あり	なし

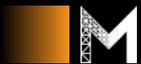
# お問い合わせ

X [@MetaPlanet\\_JP](https://twitter.com/MetaPlanet_JP)

🌐 [metaplanet.jp](https://metaplanet.jp)

✉ [contact@metaplanet.jp](mailto:contact@metaplanet.jp)

☎ +81-3-6772-3696



Tokyo Stock Exchange: (3350) (JP) // OTCQX: MTPLF (USA)